

活動①「スライム」 2025年8月25日

#### 使用したもの

- ・洗濯のり ・割り箸
- ・ホウ砂 ・食紅
- ・プラコップ

#### 活動内容

背景として…

- ・小麦粉粘土で『こねる』経験をしており、パン屋さんのような声があった。
- ・小麦粉粘土を触ってから「スライムを作りたい」と子どもが言っていた。

- ・今回は食紅で着色してスライムをつくる。
- ・プラコップを使ってスライムを作る。固まったスライムを机に出すと、パンづくりのようにこねて遊ぶ姿が見られた。こねる動作から粘土遊びに発展していった。

#### 子どもの姿からの気付き

- ・色水あそびの経験があり、スライムを着色したことで色への関心も深まっている。
- ・あそびやすい硬さだったこともあるが、1時間ほど集中してあそんでいた。集中が持続するようになっている。粘土遊びのように発展しており、創造性も豊かになっている。

#### 次回に向けて

- ・コップを使用せず、手で混ぜ合わせることで、感触の違いに気づけるようにする。
- ・ホウ砂と水の量を子どもたちが決められるようにする。
- ・子どもによってはパンや小麦粉粘土から始まってスライムにも関心が広がるように、段階的な素材も意する。

# スライム研究所！？

使用したのも：洗濯のり、ホウ砂水、シェービングフォーム、食紅

ちゅうりっぷ



ここ数日スライムづくりに勤しんでいる子どもたち。昨日までは保育者が固まる魔法の水（ホウ砂水）の量を加減していたのですが、「もっと入れてみたい」と言うので、子どもたちに加減を委ねてみることに…。ホウ砂やシェービングフォームの量によっては、スライムの質感や硬さが変わり、その違いに気付き、もう一度つくってみたいと、トライ&エラーをするように研究に熱心な小さい研究者たちです。

☆連日お洋服が汚れていて申し訳ありません。お湯とお酢でスライムは落ちるそうです💧☆



魔法の水☆これの量でスライムの固さが変わります



魔法の水をたくさんかけてみたよ。伸びなくてかたくなかった！



魔法の水を沢山かけたら、まとまらなくなった…。



シェービングフォームを追加したら、柔らかく戻ったよ！不思議！

→魔法の水をたくさん入れる = スライムが かたくなる. と 結論づけていた。

## 子どもの姿からの気づき

- ・ これまで ホウ砂の量は保育が調整し、よく伸びるスライムができるようにしていた。
- ・ 子どもたちが自分で量を調整すると失敗したが、そこから固さとホウ砂の量との関係に気づく。← 子どもが自ら経験し、失敗することも大事。
- ・ さらにシェービングフォームを入れると感触のちがいを知り、触っていくことで、固いスライムがゆるんでいくことを知る。← 物との対話をしている。



シェービングフォームをこれでもか！！と入れてみたよ。こねるのは大変だったけど、ふわふわなスライムができた！

## 次回に向けて

- ・ 洗濯のりとホウ砂の配合は、子どもたち自身で行えるようにする。
- ・ シェービングフォーム以外の素材も用意し、感触のちがいや、変化などに気づけるようにしていく。

ちゅうりっぷ

使用した物：洗濯のり、ホウ砂、粘土、食紅。



子どもたちがつくったスライムに混ぜられるように、粘土を用意しました！普段からスライムを作っている子どもたちなので、混ぜ合わせるのもとても上手です。粘土を混ぜたスライムはベタベタすることがなく、よく伸び、扱いやすいようでした。作りながらもその扱いやすさに気づき、なんでだろうと不思議そうな子どもたちでした。



スライムと粘土を混ぜるよ。まだベタベタ。



できた！手につかなくなったよ。なんでだろう。

子どもの姿からの気づき。

- 混ぜ合わせるのが上達。
- スライムを常設して、くり返し混ぜる・こねることによって上達して。
- 粘土を加えたことで、今までのスライムとの感触のちがいを発見。さらに感触がらがりや手につく量も変化に気づいていく。



完成品。ツヤツヤ☆

次回に向けて

- 粘土の色を増やすることで色への関心も高まる予想。
- 造形めがけにも茶展ができるように道具を用意する。

## ちゅうりっぷ



☆使用したもの：洗濯のり、ホウ砂、粘土、ラメ、ボンド、マッシャー  
 ☆スライムをとっておけるよう、個人用にタッパーを用意していましたが、そのフタをつかってスライムを切るあそびをしているちゅうりっぷ組。そこでまずはマッシャーを用意してみました。マッシャーの穴からスライムがむにゅと出てくるのに大笑い。ゆっくりマッシャーを持ち上げると、スライムがどんどん伸びていきます。そして、伸びてまとまったスライムを触ると...プチプチとした感触に！空気が入ったから、と大人は分かりますが、子どもたちにとっては不思議な世界でした。  
 ☆次回に向けて...マッシャーだけでなく、ヘラなども用意して、子どもたちの切ってみたいという思いを叶えられるようにする。また、マッシャーの数も増やしていく。



マッシャーを持ち上げるスピードコントロールが上達すると、こんなにも伸びたよ！！



プチプチしてる～！！なんで～！？



キラキラしてる！

使用したもの：洗濯のり、ホウ砂、粘土、マッシャー、ヘラ、タッパ、ボンド



今日は寒さからか「へやであそびた〜い」と言う子どもたちが多かったので、室内ですごしています。

スライムあそびに新しくヘラやマッシャーなどが登場しました。

子どもたちは色付き粘土を混ぜたスライムを作り、ヘラで小さく切ったり、マッシャー押しつぶしたりしていました。また、子どもたちのあそび方を見て、以前ほど床や洋服にスライムをベッタリつけることが減ってきているあとを感じました！（まだまだつくおときもありますが・・・）スライム作りを楽しむだけでなく、綺麗にあそぶことができていることに成長を感じます。



こぼれつくってるよ。

粘土が入っているスライムは、ヘラで切ると伸びる )とちがいを発見！  
粘土が入っていないスライムは伸びない

→ 道具を使うことで新たな発見。



次回に向けて... 今後使用にきた素材を自由に組み合わせられるようにする。

## 2026年03月03日の出来事

使用したもの：洗たくのり、ホウ砂、粘土、ボンド、ラメ、シェービングフォーム、ワゴン、タッパー



夏ぶりにシェービングフォームを使ってスライム作りをしました！あの頃はスライム初心者だった子どもたち。ふわふわの泡をまとめていくのに苦労していましたが、スライム名人になった今では、おちゃのこさいさい♪あっという間にまとめてしまい、最近の粘土やボンドとの感触の違いを感じていました。違いを言葉にするのは難しいですが、対話の中で言語化する経験も積んでいます。

## 子どもの姿からの気づき

- ・この頃になると、洗濯のり、ホウ砂の分量は子どもたちが決めている。
- ・シェービングフォームを入れると、いつもの分量では「ゆるい」と気づく。→ 足す。
- ・素材に応じて、配合の分量を変えると学ぶ。
- ・自分が感じているスライムの状態を適切に言葉で表現しようとしている。



ネコの手でこねると まとまるよ 手技の進化!



「これ気持ちいい！」 いつもより ゆるい！」

## 次回に向けて...

- ・素材を含め、分量は自分で決める。
- ・異素材のちがいを知り、合わせてみようとする。

## ちゅうりっぷ



☆使用したもの：洗濯のり、ホウ砂、粘土、シェービングフォーム、ラメ、ボンド、ラック、タッパ

☆今日はみんなでお散歩！と思っていたのですが、朝までしとしとと雨模様…。本日も室内で過ごしています。

スライムでは「ooをたくさん入れたらどうなるか」が本日のテーマになっていたようで、スパンコールやラメ、シェービングフォームをこれでもかっ！！というくらいにいれていました。保育者としては「あ…入れすぎ…他の子の分がなくなっちゃう…」という思いをぐっところえて見守りました（笑）はじめは無計画でやってみようとしているのかと思ったのですが、話を聞いていると、子どもたちなりにたくさん入れたらどうなるか、と仮説を立てたうえでしていました。経験があるから仮説、予測を立てられるようになっているのですね。

☆感触遊びとしてはじまったスライムですが、ほぼ年間を通して実践してきたことで、感触遊びを超越した活動となりました。触ることで物との対話をし、特性を知り、それに応じた対応をしたり、物事を理論立てて考えたり、その考えを言語化したり…。子どもたちも多くの学びを得たとともに、私たちも多くのことを学びました。来年度も継続してあそんで学んでいきたいと思えます。



「クリーム（シェービングフォーム）もいっぱい入れたらツルツル！」



ラメをたくさん入れたよ！ポイントはこぼれないように真ん中に集めたこと！



たくさんの洗濯のりでつくと、大きなスライムになるのかな？大きなスライムを作るのは大変かな？